



アジアからの留学生を支援 グローバル市場で活躍するビジネス人材に

総務部 情報支援・人材育成課

岡山県内の4大学に籍を置くアジア留学生に奨学金を交付し、日本での生活を支援する「晴れの国スカラシップ」。企業の現場で日本の商習慣に触れる「インターンシップ」。アジアを中心に事業展開を進める県内企業と交流を深め、いずれ母国との架け橋として、また企業の経営を支えるビジネス人材として、グローバル市場での活躍を期待して平成24年に「アジア留学生ビジネスネットワーク構築支援事業」を立ち上げた。4年目となる今年度の事業の様子を取材した。



奨学金「晴れの国スカラシップ」

この「晴れの国スカラシップ」は、留学生に対し金銭的な支援を行うことで、学業に専念できる環境を整え、スカラシップ(奨学金)原資を支給した企業と留学生とが密にコミュニケーションを図ることを目的に運営している。企業と留学生の間で築かれた信頼関係が、いつの日かグローバル展開のシー

ンにおいて重要な一助となることを願っている。

9月24日(木)、選考を通過した県内4大学に在籍する3カ国14人の学生に奨学金の目録が手渡された。そのうち5人には、県内企業5社が全額支給し企業名を冠する奨学金、残り9人には財団と(一社)岡山経済同友会が折半で

支給する奨学金で、いずれも年間36万円が支給され、返還は不要。

同友会の萩原邦章代表幹事から「留学先に岡山県を選んでくれたことに感謝。企業の発展にはさまざまな国との連携が不可欠。架け橋となるため奨学金を有意義に活用して学業に専念してほしい」とコメントした。

◆◆ 原資金を提供した5社の冠企業 ◆◆

<p>ゼノー工具(株)</p>  <p>3回目の参加。同社でも外国人が一生懸命働いている。岡山での生活を支援したい。</p>	<p>(株)中国銀行</p>  <p>2週間のインターンシップを実施。経験を生かし岡山と母国の関係をつないでほしい。</p>	<p>ナカシマプロペラ(株)</p>  <p>苦労しながらひたむきに勉学に励む姿に感心した。カンボジアとの関係構築のフロンティアに。</p>	<p>萩原工業(株)</p>  <p>現在学んでいる法学をしっかりと勉強して、将来は岡山県との架け橋として活躍を期待。</p>	<p>ライト電業(株)</p>  <p>海外展開を進める中で外国人を積極的に採用。今後、グローバル人材として活躍を。</p>
--	--	--	--	--



県内企業でインターンシップ

大学の夏休みを利用して、日本の商習慣に触れ、ビジネスの現場で学ぶことを目的に、39人の留学生が26社の県内企業でインターンシップを行った。事前に、企業側から受け入れる学生に期待することや条件をヒアリングし、留学生との面接、選考を経て、約2週間研修を行う。内需の減退が進む中、海外展開を視野に入れている、あるいは既に海外に拠点を有す企業には、グローバル化による体制の再構築や新しい価値観の発見を

目的としている。

実施に先立ち、「ビジネスマナー講習会」を開催し、あいさつや身だしなみ、お辞儀の仕方や職場での行動や考え方について学びインターンシップに備えた。

同日開催された「インターンシップ報告会」では、15人の留学生と受け入れ企業が参加し、研修の成果を報告した。学生からは「企業風土や業務を体験でき、今後の職業選択の参考になった」「社員の方の人柄に影響を受け、心が成長し

た」「大学ではできない貴重な体験で自信につながった」「人生観を180度変えるような良い刺激をたくさん受けた」「自分に足りないことを真剣に考えて行動するように変わりたい」「かけがえのない経験」、企業からは、「さまざまな面で刺激を受けた。自社の視野を広げることに活用したい」「受け入れは初めて。やる気があれば国籍は関係ないと感じられた。業界の人材不足を外国人に求める可能性を実感した」などの感想が届いた。



<p>受入企業 くらがね産業(株)</p>  <p>代表取締役社長 森 崇行 さん(左) 丸山大貴 さん(右)</p> <p>地域貢献と社員の刺激になればと毎年参加。面接での高い志が印象的。当たり前に行っている毎日の作業は、彼にとって新鮮な驚きの連続。リサイクルの意識もその一つで自国に根付かせたいと話す様子が社員の士気を向上させてくれた。</p> <p>留学生 ムーン・サロム さん 岡山商科大学 カンボジア出身</p> <p>リサイクル事業の現場を見ることができ、とても勉強になった。カンボジアには、リサイクルという意識が低く、母国に根付くよう活動したい。</p>	<p>受入企業 (株)システムヨシイ</p>  <p>取締役 吉井一滋 さん(右) 課長 村上智英 さん(左)</p> <p>薬剤師など有資格者が中心になって医療用医薬品のDBを扱っている。今回のインターンシップでは、医薬品情報をまとめたサイトを構築するための調査をお願いした。初めての受け入れだったが、課題を改善し今後も参加したい。</p> <p>留学生 林 根五 さん 吉備国際大学 韓国出身</p> <p>職場は楽しく自由な雰囲気。社会で働くには大学で学ぶこととは異なる多くの知識が必要。自分の弱点を教えられ反省できる貴重な時間になった。</p>	<p>受入企業 (株)タック</p>  <p>常務取締役 加納洋一 さん(右)</p> <p>地下鉄や上下水道など道路下に直径2~10mのトンネルを掘る技術を提供。国内と海外の比率が半々。昨年インターンシップで受け入れた留学生を初めて外国人採用した。日本で頼れるのは会社だけ。企業の理念を十分理解して長く活躍してほしい。</p> <p>留学生 林 愿 さん 岡山理科大学 中国出身</p> <p>現場を見て、身体的にも精神的にも鍛錬が必要。トラブル解決には知識だけでなくチームワークも重要。これまでの生活が一変するほどの影響があった。</p>
---	---	--